

米子市政記者 各位

**平成29年度鳥取県原子力防災訓練概要 ※米子市実施分
(船舶を利用した住民避難訓練の実施について)**

【目的】

原子力災害時における避難手段については、自家用車・バスの利用を基本としているが、船舶による避難も補完的手段として位置付けている。

この度、関係機関の協力を得て、海上保安庁の巡視船及び海上自衛隊艦艇による避難を行い、船舶への乗船・降船の確認及び関係機関等の調整方法等の確立と検証を図る。

【日時・場所】

平成29年8月9日(水) 午前7時～午後1時

米子市(一時集結所:大篠津公民館)及び境港市(大正岸壁および周辺海域)

【主催】

鳥取県・米子市・境港市

【訓練想定】

- 1 島根原子力発電所による原子力災害が発生し、全面緊急事態に進展
- 2 今後も事態の進展が予想されるため、一部の住民については、境港に着岸していた船舶による避難を決定
- 3 大篠津地区の住民に対し、一時集結所(大篠津公民館)集合後、境港大正岸壁から、海上保安庁の巡視船「おき」に乗船し、鳥取港まで移動するよう避難指示発令(訓練では、美保湾内の航行を予定)
※境港市住民については、海上自衛隊艦艇「ひうち」により実際に鳥取港まで航行

【参加者(「おき」に乗船する者)】

- 1 行政・関係機関
鳥取県6名、鳥取県教育委員会1名、米子市2名
- 2 避難住民(地元住民)
米子市大篠津地区住民15名 計24名

【訓練項目】

- 1 船舶避難に係る関係機関との連絡要領の確認
→ 大篠津公民館から住民15名がバスにより境港大正岸壁に移動
バス移動にあたっては、米子警察署パトカーにより先導
- 2 船舶への乗降船手順の確認
→ 背負子(しょいこ)を利用した要支援者の乗船訓練も実施

(裏面に続く)

- 3 県防災ヘリと連携した船舶避難手順の確認
→ 急病人が出た場合に備え、巡視船おきの甲板への離発着訓練
- 4 船舶避難時における住民対応の確認及び課題の抽出

【米子市・避難スケジュール】

- 07:10 一時集結所(大篠津公民館)集合完了、米子警察署パトカー到着
↓
- 07:15 バスが一時集結所に到着。バスに乗車し、船舶のある境港へ移動
↓ (米子警察署パトカー先導)
- 07:30 境港大正岸壁到着、手続きの後、海上保安庁巡視船「おき」へ乗船
↓
- 07:45 要支援者乗船訓練
↓
- 08:30 境港大正岸壁発
↓ (約3時間湾内航行予定)
- 10:00 県防災ヘリによる離着艦訓練
↓
- 12:00 境港大正岸壁着
↓
- 12:30 バスに乗車し、一時集結所へ出発
↓
- 13:00 解散(大篠津公民館)

【その他】

- ・船舶を利用した住民避難訓練については、自衛隊艦艇による訓練を平成27年度及び平成28年度にも計画したが、いずれも天候不良で中止(平成27年度は関係者のみ乗船し、鳥取港まで航行)
- ・バス、JR等を利用した住民避難訓練については、11月19日(日)に実施予定

【取材】

本訓練の取材については、鳥取県原子力安全対策課にお問い合わせください。

(問い合わせ先)

- ・総務部防災安全課 課長 大塚 亮
電話 23-5336
- ・鳥取県原子力安全対策課 天野(アマノ)
電話 0857-26-7973

H29.8.9 住民避難訓練(船舶)の概要

海上自衛隊
ひうち

境港市民(15名)

海上保安庁
おき

米子市民(15名)

7:30~8:00
境港竹内3号岸壁

7:30~8:30
境港大正岸壁

12:00
境港大正岸壁

13:00
鳥取港千代3号岸壁

10:00頃 防災ヘリ発着艦訓練

鳥取空港
防災ヘリコプター

10:00頃
離着艦訓練



自衛隊

13:05~13:20
避難退域時検査
(鳥取港)

海保

防災ヘリ

復路はバスで境港に移動
(車内でDVD研修)

14:30~15:00
県営広域避難所
(とりぎん文化会館)

